

第76回 中小口区 納涼夏祭り(盆踊り)大会 2026



「第76回中小口区納涼夏祭り(盆踊り大会)2026」を開催しました。今年は6月は雨が多く過ごしやすかったのですが、7月に入り一気に気温が40℃に迫り(23日には多治見市で40.3℃!)、体調を崩される方がたくさんいらっしゃいました。中小口区夏祭りは、昨年度に続いての大口北防災センターでの開催となりました。

今年の盆踊り練習日は8月3日(月)夜でした。中小口地区コミュニティセンターに集まったのは、例年より少なかったですが、熱心に練習しました。



本番11日(火・山の日)は、変則的な台風によって北からの涼しい空気が下りてきていて、雲も多少あり、過ごしやすい天気でした。



午後5時、盆踊り大会前のイベントの開始です。屋外(会場北側)では、食べ物やゲームなどを扱う子ども会のブース、ビールや唐揚げの出店が始まりました。同時に屋内(中央踊り場)でも、獅子保存会による伝統楽器体験会と、昭和のあそびパーク実行委員会による「おかしあそびとゲームひろば」がスタートしました。涼しさも手伝って、親子連れがたくさん来場されて、おまつりを楽しんでいました。





午後 7 時、**盆踊り大会**のスタートです。盆踊りは数あれど、屋内で開催するところは中小口区以外になかなかありません。区長や来賓のみなさまからは、天候に左右されない盆踊りを楽しんでほしいとの挨拶がありました。

そして、待ちに待った盆踊りが始まります。今年は中央踊り場を、踊りやすさを考慮して畳ではなく板敷きの場所とし、真ん中にミニやぐらを設置して提灯を多々ぶら下げました。それほど広くはないですが、雰囲気は十分。



中小口民踊クラブのみなさまを中心に、二重の輪をつかって、子どもも大人も楽しく踊りました。国外から移住された方も何人も踊りの輪に加わり、母国文化とはテンポの異なる踊りを楽しんでいらっしゃいました。

和太鼓演奏は今年も**日本太鼓研究会**のみなさまで、力強い音を響かせてくださいました。最後はダンシング・ヒーローで、200 名を超える方々の熱気が満ち、子どもたちがおおはしゃぎでした。





午後9時からは大抽選会です。が、その前に2等から4等の当選番号の発表がありました。掲示板に用紙を貼り出した直後の待ち構えていたみなさまの勢いがすごかったです。その後、ステージ上で町議と前区長がくじびきで、特賞と1等の当選番号を発表しました。盆踊りとは違った熱気の中で、当選されたみなさん、おめでとうございます。何も当たらなかったみなさんには、大口町ごみ袋もしくは大口町産麦茶をお持ち帰りいただきました。ごみ袋は購入制限があり、隠れた目玉だったかもしれません。



来場者は推計のべ700人ほどと思われます。昨年よりも多くの方にご来場いただき、また楽しんでいただくことができて、本当によかったと思います。

夏祭りの準備運営にかかわったみなさま、参加された多くのみなさん、本当にお疲れ様でした！

文責・事務員 水野友美